



・広島市平和記念公園

山口県周南市および広島県広島市

平成22年11月24日（水）～26日（金）

- ◎視察先
- ◎研修期間
- ◎参加議員 (9人)

【総務経済】 澁谷光正、下山勝明、出町豊、新谷賢剛  
三浦勉

【教育民生】 花田正逸、松山明、一戸豊、北谷正則

編集／鶴田町議会議事事務局

今回の研修は、総務経済と教育民生の2つの常任委員会が合同で実施し、活力あふれる地域づくりと核兵器廃絶・恒久平和の実現について、山口県周南市と広島県広島市を視察してきましたので、その概要についてご報告いたします。

◎山口県周南市

周南市は、平成15年に徳山市を中心に2市2町が合併し誕生しました。山口県の東南部に位置し、

北は中国山地や緑豊かでないならかな丘陵地が広がり、南は瀬戸内海を臨む自然豊かな美しい景観を有しています。

周南市は「あこがれの周南」を目指して次代へつなぐまちづくりを推進しており、特色のあるさまざまな取り組みを行っています。中でも、いのち育む里づくりは、市民のいのちを守り、育む、かけがえない財産である地域を「いのち育む里」と名付け、自然や歴史、文化などこれまで育んできた宝を大切にしながら、活力あふれる

地域づくりを進めています。平成22年度には、市内にいのち育む里づくり部を創設し、いのち育む里づくりは市の重点推進プロジェクトに位置付けられています。

いのち育む里の対象地区は、地域振興関係法で指定された地域や中山間農業地域で面積は市全体の約7割を占めていますが、人口は約1割に過ぎず、高齢化率も36%となつています。人口の減少や少子高齢化、さらには農林水産業の衰退に伴い、存続が危ぶまれる集落も現れ始めています。

このような中、行政や地域、住民だけでなく、都市住民や企業なども含めた多様な主体が知恵と力を結集して、いのち育む里づくりを展開しています。

支援策としては、地域の将来目標や振興方策、住民や行政の役割分担などを盛り込んだ「地域の夢プラン」という計画を策定する地区や、計画の実現を図るための取組に対する補助のほか、経済、人、自然など好循環を創出する事業を行う団体に対する補助事業があります。補助金を交付するほかにも、話し合いや活動を手助けする人材を派遣するなど、地域の実情に応じてきめ細やかな支援を行っています。今年度新たに3地区の計画が採択され、対象11地区のうち7地区が計画を策定していますが、自主自立した持続可能な地域を実現していくため、いのち育む里全域に夢プランをつくることを目標



・周南市役所会議室にて

に掲げています。

また近年、バス路線の廃止や農協、郵便局などの撤退により生活の利便性が低下し、買い物難民と呼ばれる人達が増えたため、生活用品を販売する施設の確保や予約制乗合タクシーの活用などにより、安心して暮らせる地域づくりに努めています。

さらに、自然や歴史、農業、暮らしなどの地域資源を活用した観光メニューづくりを進めるとともに、長期滞在型の農村宿泊体験を地域ぐるみで受け入れるなど積極的に取り組む地域を支援しています。

ほかにも、地域の担い手として期待される移住者呼び込みのために、空き家の掘り起こしや移住者の受入体制の強化に地域ぐるみで取り組んだことよって、23件あった空き家をすべて解消したという地区もあります。

【広報つるた有料広告欄】

— 地域と共に歩む —  
りんごの仕入れと販売の情報は

# (株)津軽りんご市場

代表取締役社長 大中 忠 取締役副社長 石戸谷 繁 取締役営業部長 進藤 政光

〒038-3684 青森県北津軽郡板柳町大字三千石字二瀬21-3  
TEL 0172(72)1211 FAX 0172(72)1229

## 敷金分割で楽々入居

団体の内見22時までOK!  
実インターネット環境!  
子どもが遊べる・6畳2枚!  
大規模修繕・全室設備済み  
随時入居可能  
冷暖房完備 駐車場付

### アーバンハウス コスモス

鶴田町鶴田津津296-7 TEL: 0173-28-2668 安田

このように、活力あふれる地域づくりを進めるには、地域住民が安心安全に誇りを持って暮らせることが前提であり、その地域の現状を知り関心を持ってもらう仕掛けや地域コミュニティの維持活性化のため移住を図ることも必要であるということだ。

平成22年国勢調査の結果速報によると、わが町の人口は1万4266人で、前回の平成17年調査時より約1000人減っています。また、平成21年度の県の高齢者人口調査では、高齢化率は約29%となっており、30%目前まで迫っています。全国的に人口減少や少子高齢化が進む中、国においては地域住民が自ら判断し、責任をもって地域社会をつくっていく地域主権改革を推進しており、本格的な地域間競争の時代に突入しようとしています。今後は、地域の生き残りをかけた活力あふれる地域づくりの取り組みが急務とされ、行政のみならず地域住民や多様な主体が知恵と力を結集することが重要であると感じました。

◎広島県広島市

広島市は、昭和20年8月6日午前8時15分、世界で初めて原子爆弾が投下され、一瞬にして町のほとんどが壊滅し、たくさんの方の尊い命が奪われました。現在もおおむね多くの被爆者が心と体に苦痛を抱えながら生活を送っており、広島市や長崎市を始め全国的に核兵器



・原爆死没者慰霊碑

廃絶と恒久平和の実現が叫ばれています。

今回われわれが視察先として選んだ平和記念公園は、県庁や市役所などがある市内の中心部に位置し、広さは原爆ドームを含めて約12ヘクタールあります。被爆前は劇場や飲食店、旅館などが軒を連ねる広島市の繁華街であり、原爆ドームは広島県産業奨励館として特産品の展示などがされていました。戦後、爆心地に近いこの地区一帯は世界恒久平和の願いから記念公園として整備が進められ、現在、公園内には平和記念資料館、原爆死没者追悼平和記念館、国際会議場などの施設や、原爆死没者慰霊碑を始めとする数多くのモニュメントが建設されています。

公園の南端に位置する平和記念資料館は、被爆者の遺品や被爆前後の資料などを展示するとともに、平和への歩みや核兵器の現状などについて紹介しており、平成18年には国の重要文化財にも指定されています。

われわれが視察に訪れた日も、小さな子どもから大人まで、またいろいろな国の方々で館内は埋め

つくされていきました。

館内に入ると、最初に被爆前の広島の写真やたくさんの方の建物が並び並ぶ公園周辺の模型などが展示されており、覚えていた当時の広島をうかがうことができます。その先に進むと、原爆が投下された日の8時15分で止まった時計があり、ここを境に雰囲気は一変しました。原爆投下によって廃墟となった広島風景、原爆ドームや焼け野原となった公園周辺の模型などがあり、原爆の破壊力をまざまざと思い知らされました。また、被爆後の大変動期の中で市民が生活再建に取り組む様子や核時代の現状、市民の平和への取り組みなども写真やパネルで紹介されています。

さらに、遺品や被爆資料などが展示されているコーナーでは、原爆による被害をより詳しく知ることが出来ます。ボロボロの衣服や焼けこげた三輪車などの遺品、強烈な爆風で変形した橋げた、人が腰掛けていた部分だけが黒くまわりが熱によって白く変化した石段などは原爆のすさまじさを物語っています。ほかにも目をそむけたくないような写真などもあります。これが戦争、核兵器がもたらした現実です。

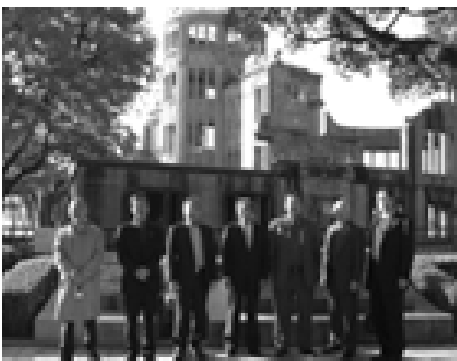
わが町では、被爆から50年にあたる平成7年に、核兵器による悲劇が二度と地球上で繰り返されることのないよう「核兵器廃絶と平和の町宣言」に関する決議案を可

決しました。また、平成22年には「核兵器廃絶に向けた日本政府の積極的な取組を求める意見書」を国に提出するなど、核兵器廃絶と平和を願う決意を今一度確認したところです。

しかし、核軍縮が叫ばれる現在も世界には多くの核兵器が存在しています。もしも戦争が起きてきた核兵器が使用されると、人類は破滅の危機にさらされることとなります。

次代を担う子どもたちにはぜひ、世界中から核をなくし、戦争をしないという決意を胸に平和な道を行って欲しいと願うとともに、改めて平和の大切さを実感した視察でした。

以上、簡単ではありますが、常任委員会合同視察研修のご報告とさせていただきます。



・原爆ドーム前にて

一 町からのお知らせ 一

果樹経営の安心をサポートします

**果樹共済に加入しましょう!**

果樹農家のみなさまへ

※町では掛金の一部を助成します。

【広報つるた有料広告欄】

りんご共済 加入よろしくお願ひします

自然災害に備えよう 入って安心りんごの保険 NOSAIの果樹共済

〒037-0011 五原川原市大字金山宇竹崎203番地4  
津軽広域農業共済組合  
TEL 33-1513 FAX33-1516

【23年度加入申込期限】平成23年3月25日まで